

授業評価・授業研究報告書

家政教育・藤田昌子

1. 授業の概要

(1)対象授業の科目区分など

【対象授業の科目区分】教職科目 A

【科目名】初等家庭科教育法

【登録学生数】176名（うち89名を担当）

(2)目的, 到達目標, 関連する DP

【目的】

児童の実態や児童を取り巻く生活環境の諸課題と家庭科教育の関係性を踏まえ、現代の小学校家庭科教育の意義や課題, 教育内容, 指導方法等を理解し, 小学校家庭科における授業実践に必要な基礎的な知識と教育実践力を身につける。

【授業の到達目標】

- 1)家庭科教育の意義を説明できる。
- 2)家庭科教育の動向と課題を説明できる。
- 3)小学校家庭科教育の目標と内容を説明できる。
- 4)小学校家庭科の教材研究ができる。
- 5)小学校家庭科の学習指導案が作成できる

【ディプロマ・ポリシー】

- ①知識・理解：教育と教職に関する確かな知識と,得意とする分野の専門的知識を修得している。
- ②思考・判断・表現：教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について, 専門的な知見をもとに, その対応方策を理論に基づいて総合的に考え, その過程や結果を適切に表現することができる。

2. 授業評価・授業研究

(1)学部 DP との対応

受講生 62 名から回答があり, 下記のような結果であった。

①知識・理解

とてもそう思う 59.7%

ある程度そう思う 40.3%

あまりそう思わない 0%

授業の目標・内容がこの DP とは無関係である 0%

②思考・判断・表現

とてもそう思う 40.3%

ある程度そう思う 54.8%

あまりそう思わない 4.8%

授業の目標・内容がこの DP とは無関係である 0%

本授業は, 学部 DP に対し, 「そう思う」+ 「ある程度そう思う」とする学生が, 「知識・理解」で 100.0%, 「思考・判断・表現」で 95.1%となっており, 学部 DP に対応した授業内容であったといえる。

(2) 授業時間外に費やした学習時間 (1 週間)

①この授業で出された課題や予習・復習の為

0 時間 4.8% 0.5 時間 11.3%

1 時間 53.2% 1.5 時間 4.8%

2 時間 22.6% 3 時間 3.2%

②この授業で出された課題や予習・復習を行う以外の為

0 時間 41.9% 0.2 時間 1.6%

0.5 時間 9.7% 1 時間 32.3%

1.5 時間 1.6% 2 時間 11.3%

3 時間 1.6%

本授業では, 約 84%の学生がこの授業で出された課題や予習・復習の為に 1 時間以上の授業時間外学習を行っていた。一方, この授業で出された課題等以外では, 1 時間以上の学生は約 47%であったが, 0 時間が約 40%も占めており, 学生が自主的な学習に取り組むようなしなやか作りが必要である。

(3) この授業を通して, 教員になる上で身につくと思うスキル

「指導案や板書計画などの授業づくりを行うためのスキル」「授業の良い点や改善すべき点を考えるスキル」「自身の知識・技能の向上に加え, それを子どもたちに伝える力」など DP に対応した記述が多数みられた。

3. 地域社会を核とした教育と研究のつながり

本授業では, 愛媛県内の小学校家庭科の研究授業等で撮影した授業実践に関するビデオを視聴させている。教材や指導の工夫など学生の家庭科における実践的指導力向上のために有意義なものとなっている。